



輝 ~Shining~

発行所
福岡県立行橋高等学校
PTA調査広報委員会
行橋市泉中央1-17-1

本校PTA会長に任命され、大きな希望と共に身の引き締まる思いです。また、PTA会員の皆様におかれましては、日頃よりPTA活動に多大なるご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

また、先代会長や役員を手本とし、本年度さらに活発な活動を役員各位と共にPTA活動の提案・実施に努めて参ります。

引き続き、会員の皆様と共にPTAスローガンの「明日のスペシャリストを育てる『続』」を掲げ、学校・地域との連携を深め、生徒たちの成長を支える活動に取り組んでいく所存です。

新型コロナウイルス感染症の第5類への移行後、初めての体育祭開催でしたが、雨天にて延期を余儀なくされましたが、日頃の練習の成果により生徒一同が一生懸命に競技を行い、最終競技でも「応援団」「チアリーダー」による各組の演技で皆が一丸となり活気溢れる体育祭が盛大に開催出来た事を心から「感動」することが出来ました。

これからの学校行事が以前の様に生徒にとって当たり前の学校行事が取り戻せる足掛かりになったと思います。



PTA会長 浦山 剛

私たちPTAは、学校と保護者の架け橋として、生徒たちの成長と教育環境の向上に邁進しています。過去の活動を振り返りながら、新たな取り組みやイベントを企画し、より多くの皆様に参加していただけるよう努めてまいります。

昨年120周年を迎えましたが今後に於いても本校の栄えある歴史と伝統を後世へ継承していく為にも、私自身多くのことを学び、成長していきたいと思っております。

この広報誌を通じて、私たちの活動に対する理解を深めていただければ幸いです。

また、皆様との連携をより一層強化し、学校コミュニティ全体で支え合い、成長していけるよう取り組んでまいります。

最後になりましたが保護者並びに、教職員の皆様のますますのご健勝・ご多幸と行橋高等学校のさらなる発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



校長 矢津田 としえ

この度の人事異動で行橋高校の校長職を拝命いたしました矢津田(やつた)と申します。どうぞよろしくお願いたします。

PTA活動は、役員の方々を中心として、支えてくださる保護者の皆様のお力で成り立っております。日頃より、PTA活動をはじめとする本校の教育活動に御理解と御協力をいただいていることに對しまして、心より感謝申し上げます。

早速ですが、お子様方は御家庭で学校のことを保護者の皆様は何と話しているでしょうか。「楽しい！」と話してくれているでしょうか。「友達と会えるから楽しい!」「部活動が楽しい!」「はもちろんですが「授業が楽しい!」と話してくれれば、教員としてはこんなに嬉しいことはありません。反対に「つまらない」と話している、その理由が「授業が分からない」だとしたら、授業の在り方を振り返り、工夫をしなければなりません。また「友達とうまく付き合えない」などの理由を話しているとすれば、早めに対処しなければいけません。どんな些細な事でも結構ですので、気になることがおありでしたら、担任や部活動顧問など話ができる教員に御相談ください。

学校は、生徒たちにとって、安全・安心で、基本的には「楽しい」場所であるべきです。しかし、もちろん楽しいことばかりではありません。高校の主な役割は、進学や就職等に必要知識・技能をもちろんのこと、これからの社会を生き抜く「人間力」を身に付けさせることであると思っております。その基本として「時を守り場を清め 礼を正す」ことが必要です。「時を守り」とは「遅刻をしない」「期日を守る」こと。「場を清め」とは「掃除をする」「身の回りを整理整頓すること。」「礼を正す」とは「挨拶や返事をする」「正しい言葉遣いをする」こと。決して難しいことではありません。ただ現在、この当たり前のことができていない生徒がいることは事実です。これらは、人を大切にし、自分を高め、よりよい人間関係を築くことにつながります。すべての行高生が、この当たり前のことを当たり前にできるようにすれば、行橋高校はさらに素晴らしい学校になることでしょう。お子様方が卒業の日を迎える時に「行橋高校で過ごせて本当によかった」とお子様方だけでなく保護者の方々にも思っていただけのように、職員一同力を合わせ、「時を守り 場を清め 礼を正す」を基本とし、生徒一人一人を大切に指導を行ってまいります。どうぞ御家庭においても、学校の教育方針を御理解いただき、御協力をお願いいたします。



1	入場行進
2	開会式
3	準備体操
4	50m走
5	100m走
6	旋風
7	三人四脚
8	小綱引き(2年女子)
9	小綱引き(3年女子)
10	ファイティングマッスル
11	ムカデ競走
12	大綱引き
13	スウェーデンリレー
14	PTA競技
15	運動部活動紹介
☆昼休み☆	
16	応援合戦
17	大縄跳び
18	ブロック対抗リレー
19	閉会式

LOGIC



体 育 祭

飛 躍
~ We can fly ~





実行委員長

『最後の体育祭を終えて』

環境緑地科3年 中野 晴基

体育祭を終えて、感じた事は人前に立つて何か指示をしたり、意見をいったりする事の難しさを感じる事ができて自分にとってはとても良い経験になったと思います。自分は人前に立つて指示をする事が苦手だったので、体育祭で実行委員長という立場になって少しは自分の苦手が克服できたと思います。実行委員長としてダメだった所もありますが、各ブロック長や副ブロック長、応援団長、副応援団長などが各ブロックそれぞれをしっかりとまとめられていたので本当に助かりました。そして、副実行委員長にも助けられたと思います。

実行委員長としては、勝敗よりもまず体育祭を成功させることを第一の目標にし、日々の練習に取り組みました。全校生徒、先生方のおかげで成功したのだと思っています。本当にありがとうございました。

紅団長

ブロック長

『体育祭を終えて』

農業美術科3年 鬼頭 雅治

体育祭を無事に終えることができ、協力してくださった皆さんに心から感謝申し上げます。皆さんの努力と協力のおかげで、素晴らしい体育祭となりました。特に、各競技では、選手が出せる力を最大限まで発揮し、最高のパフォーマンスを見せてくれたことがとても印象に残っています。一方で、体育祭の練習では、指示がしっかりと通っていないことが出来ないなどのアクシデントが多くありました。またこのような機会があればスムーズな運営を目指したいと思います。今回の経験を通じて、リーダーシップやチームワークの大切さを学びました。これからもこの経験を生かしてよりよい活動をしていきたいと思えます。最後に、ともに頑張ってくれた各ブロック長の皆さん、本当に有難うございました。これからも力を合わせて様々な活動を成功させていきましょう。

応援団長

『体育祭を終えて』

農業技術科3年 川津 結夢

高校生活最後の体育祭で応援団長を務め、無事に終えることができました。本当に有難うございました。練習期間中は、うまくいかないことが多く、応援団の皆をまとめるためにはどうしたらよいのか悩むこともありましたが、しかし、みんなが協力してよい体育祭にしたいという気持ちも大きくなり、次第にまとまりができてきました。私が困っていた時には、ブロック長や副ブロック長、競技長、紅団の皆が助けてくれて、とても感謝しています。そして、体育祭本番では、とても良い演舞をすることが出来ました。赤ブロックのチームの皆が一丸となってつくり上げた全体演技もとても楽しく出来たと思えます。3年間で一番最高で、一番思い出に残る体育祭でした。



ブロック長

『今年の体育祭について』

生活デザイン科3年2組 中村 心美

私は、白ブロック長に立候補しました。初めて人前に立つ仕事をしたので、分からない所ばかりでした。でも、副ブロック長をはじめ、チアや応援団のメンバーが支えてくれたおかげで、毎日の練習がスムーズに行えることができました。指示が上手く伝えられない時やチアで手いっぱいになっている時など、チアや応援団以外の生徒も協力してくれて、3年全体で他学年をまとめることができました。

今回の活動をとおして、協力することの大切さを知ることができました。この経験から学んだことをこれからの日常生活に活かしていきたいと思っております。

最後に、体育祭が成功できたのも皆の協力があったからだと思います。感謝しています。本当にありがとうございまして。体育祭を終えて学んだ事を次に活かし、進路実現に向けて頑張っていきたいと思っております。

応援団長

『今年の体育祭を終えて』

環境緑地科3年 高田 良一

私は、応援団長になれて本当に良かったと心の奥底から思っています。練習中などで何回も責任者として怒られました。正直とても辛くて辞めたいと思ったこともあり、団員のことも重かったです。陰でしていることもみんなに見られず褒められないのが辛かったです。でも、練習中に初めて演舞が最初から最後まで通せたときチアの人達から、拍手や歓声をもらえたときは涙がでそうなくらい嬉しかったです。怒られた分嬉しさが返ってきた感じで本当に気持ち良かったです。体育祭が終了した後、先輩から『団長、お疲れ様です。』と言われるもの嬉しかったです。

人前に立つて、指示することや、一人確認してまとめるのはとてもストレスがたまり、仕事を投げたくなりましたが、その成長したと自信を持って言えます。本当に応援団長をして良かったです。

副ブロック長

『私達の最高の思い出』

総合ビジネス科3年 轟 彩

私達は今回の体育祭で、青ブロックの副ブロック長を務めました。私達が副ブロック長に立候補した理由は2つあります。

1つ目は、3年連続優勝をかけて青ブロックを優勝に導きたいと思ったからです。そのために自ら声を出し競技だけではなく、入場や待機中の応援の態度、本番だけでなく練習中の帽子の有無など声をかけをし、少しでも点数に反映されるように努力しました。

2つ目は、自分の性格的にもリーダーシップがあり責任感が強いので副ブロック長になりました。

2年間体育祭を行ってきた、今年は私達の代が全体を動かすときになりました。先輩方をみてきて、ブロック全体を動かすということは大変だと分かっていました。指示を聞いてくれたブロックの皆さんや、ブロック長のおかげで優勝は逃したのも、最高の思い出になりました。

応援団長

『体育祭を終えて』

総合ビジネス科3年 徳本 茉桜

私は高校最後の体育祭で、青ブロックの応援団長を務めました。最初は、すれ違いも多くアルバイトや部活動で全員が集まるのが難しかったです。話し合いを始め、意見を出し合っていくうちに団結力が高まってきました。また、卒業した先輩方が学校に来てくださり、的確なアドバイスを頂きました。全員が揃った時の練習を大事にして、本番に向けて仕上げていきました。本番では、青ブロックのみんなの声を聞いて、チアも応援団も今までで一番良い最高の演舞ができました。その結果、応援合戦の部では優勝することができました。

私はこの体育祭を通して、仲間との協力して成しとげることの大切さを知ることができ、これからの学校生活や卒業してからの進路にも活用していけると思います。自分を成長させることのできる経験になり、高校生活で一番の思い出になりました。

農業技術科 AGRICULTURE

主任 大砂 重仁

大地と心を潤わせよう ～農業で学ぶ自然の恵み～

農業技術科では、野菜や作物、草花や果樹等を授業の中で栽培しています。地域の小学校と田植えや稲刈り体験、ミニトマトや草花のプランター栽培の体験活動や幼稚園とのサツマイモのつる挿しや芋ほり等の交流を通して学習を行っています。また、キウイフルーツの新品種「甘い」の栽培を通して、安心安全な地元高校発の花粉生産を目指した取り組みを行っています。



泉小学校との田植え

本年度は、地域と連携した活動に力を入れて、農業の魅力を発信していこうと考えています。

生徒一人ひとりが主役となり周囲と協力して成長し学校生活を有意義にしていくことを期待しています。また、農業に関する実践的で体験的な知識と技術をしっかりと身につけさせ、農業のスペシャリストを育成していきます。



親子田植えボランティア

環境緑地科 GARDENING AND GREEN

主任 龍田 雅人

環境緑地科では、地域との連携による校外現場実習の一環として、行橋市の「福祉の里」「みやこの苑」の緑化管理や庭園制作、駅舎の改築整備、福岡県水源の森基金や森林組合との山林実習など地域連携を積極的に行っています。

日頃の授業で学んだ技術を活かした校外実習の取り組みを通して、環境保全や緑化推進という実践的技術の習得を目的に、地域に貢献できる活動を目指しています。

今後も環境緑地科では生徒が活躍できる場面を多く設定し、生徒が意欲と自信を持って日々の授業に望めるようにしていきたいと思えます。



今後の主な予定	
7月	みずほPayPayドーム福岡ガーデンコンテスト出展 全国高校北部九州総体草花装飾(メディアドーム) 厚労省フラワー装飾3級受験(3年生希望者) 厚労省造園3級受験(2年生全員・3年生希望者)
8月	フォークリフト技能講習会(3年生希望者) 九州学校農業クラブ連盟 鹿児島大会 意見発表参加 小型車両系建設機械特別教育(3年生希望者) みやこの苑実習(1・2・3年生)
9月	厚労省造園2級受験(3年生希望者) 中学生体験入学
10月	農業クラブ全国大会(岩手県)
11月	修学旅行(2年生) 蔵持山演習林実習(1年生)
12月	行高祭(全学年)
3月	インターンシップ(2年生)

環境緑地科在籍生徒 取得資格一覧	
厚労省技能検定造園2級・3級	厚労省技能検定フラワー装飾3級
トレース技能検定2級・3級	日本農業技術検定3級
福岡県測量技術認定試験	フォークリフト技能講習
日本語ワープロ検定2級・準2級・3級	情報処理技能検定(表計算)3級
※赤色で表示しているものについては関連する授業内で学習し、受験しました。	

令和5年度 環境緑地科卒業生38名 進路一覧(五十音順)		
就職 25名	進学 11名	
京都森林組合	トヨタ自動車	日鉄ビル
塩塚建設	豊前東芝エレベータ	
日産自動車九州 4名	TMO	ホーム・ア&D
日産車体	TOTOラブリ	シングルミーコ
ロイヤリティ九州	柏木興産	タケ
福岡県土地改良事業団体連合会	グイン	
錦綾工業	JR九州エンジニアリング	ヤマダデンキ
宮西コスモ 2名	JR貨物九州ロジスティクス	
	南九州大学	西日本工業大学
	大分県立工科短期大学	
	北九州リハビリテーション学院	
	九州医療ｽﾎｰﾂ専門学校	
	KCS北九州情報専門学校 3名	
	北九州調理製菓専門学校	
	九州スクールビジネス	
	Be-STAFF	

総合ビジネス科 COMMERCE

主任 西本 綾乃

総合ビジネス科では、商業科目を通じて社会の中での自己の在り方や将来の働き方について考えさせ、ビジネスマナーなどの社会人基礎力の育成にも力を注ぎ、社会人としての常識やマナーを身に付けさせることを目標としています。また、簿記・会計やマーケティングに関する科目を中心に商業全般に関する知識・技術、情報処理の基礎を学習し、高い専門性の学習に取り組んでいます。文化祭では店舗経営を通じて、クラス全員が協力して商品販売に取り組むなど協働の精神を培っています。

本年度、3 年生の「課題研究」では、以下の内容に取り組んでいます。

- ①「販売実習班」➡外部企業等と連携して販売実習を行なっています。
- ②「ホームページ作成班」➡地元企業から委託を受けて H P 作成を代行しています。
- ③「調査研究班」➡4 つのグループに分かれて行橋市のことについて調査研究を行っています。
- ④「資格取得班」➡日商簿記を中心に上位級の資格取得にむけて勉強をしています。

主な資格取得

日商	簿記検定試験
全商	簿記実務検定試験
全商	商業経済検定試験
全商	ビジネス文書実務検定試験
全商	ビジネス計算実務試験
全商	情報処理検定試験



3 年生「課題研究」販売実習



3 年生「課題研究」ホームページ作成班

生活デザイン科 HOME ECONOMICS

【1 学期の取り組みについて】主任 重岡 貴子

夢と理想と創造と ～キミの想いで全てが変わる～

多くの実習を通して、家庭に関する専門的な知識・技術を身に付けています。

1 年生は初めての検定受検(被服・食物共に 4 級に対応)に向けて練習を繰り返しました。生活産業基礎の地産地消実習では、初めての取り組みとしてトマト・ピーマン・バジルを育てています。2 年生は被服・食物検定も、より上の級に挑戦します。今は保育基礎でのオリジナル絵本作りに熱心に取り組んでいます。

3 年生はこれまでの学びを生かし、課題研究に取り組んでいます。各グループ、少しずつ成果が現れてきたところです。



食物調理検定4級(1年)



生活産業基礎 地産地消実習(1年)



被服技術検定4級(1年)



ファッション造形基礎(2年)



保育基礎(2年)



課題研究(3年)



テーブルコーディネート講習(3年)



農業クラブ



九州大会・全国大会出場

●第67回九州学校農業クラブ連盟発表大会 鹿児島大会

8月7日(水)発表

8月8日(木)大会式典等

場 所：リナシティかのや鹿屋市市民交流センター

参加生徒：山本ひなた(G3)

参加種目：意見発表(Ⅱ類)

●第75回日本学校農業クラブ全国大会 岩手大会

10月23日(水) 各発表会・競技会(各会場)

10月24日(木) 大会式典等

【平板測量競技会】

場 所：花巻市総合体育館 日居城野運動公園

参加生徒：植村 真珠(G2) 木下 香蓮(G2)

河野 梨亜(G2) 白橋 陽那(G2)

県大会出場!



バドミントン部

環境緑地科3年 早川 哲平

私たち行橋高校バドミントン部男子は、令和6年福岡県高等学校総合体育大会バドミントン選手権大会において県大会に出場しました。バドミントン部一丸となって県大会出場を目指して1年間頑張ってきた成果が実ってとても嬉しかったです。県大会では悲願の一勝を目指して頑張りましたが、大牟田高校に惜敗しとても悔しかったです。県大会の勝利は後輩たちに託したいと思います。



バスケットボール部

総合ビジネス科3年 山田 椿

僕たちバスケットボール部は、インターハイで県大会に出場することができました。

今回県大会に出場するために3年間、地道に努力を積み重ねてきました。日々の練習、昼休みの練習やとても暑い夏の練習、手がかじかむような冬の練習を乗り越えてきて本当に良かったです。

自分はキャプテンとしてチームをまとめたり、プレーの部分で引っ張ることを常に心掛けてきました。時には上手いかなことや、チームメイトとの衝突など多くありましたが、その度にお互いを尊重して頑張ってきました。

僕たちの力だけでは絶対に県大会に出場することはできなかったと思います。5名の先生方のご指導や、いつも応援してくれた保護者の方々のおかげで県大会に進むことができました。

これからも、行橋高校バスケットボール部の応援をよろしくお願いします。

第68回九州地区高等学校PTA連合会『いいね!発信』熊本大会

令和6年6月20日・21日

『今回の大会に参加して感じたこと』

PTA副会長 田村 史子

どの学校も、コロナ禍を経て試行錯誤しているがアフターコロナで少しずつ各々の方針が出始めている。「活動を縮小する」「従来通りに戻す」「新しい試みを取り入れる」など様々ではある。高校は技術を高める分野・進学する分野・立地条件(環境)など多種多様でそれぞれの学校の条件に合わせてPTAも活動内容が大きく違っているのだと感じた。共通しているのは、どの学校も新規役員の獲得が難しく、人材集めに困っていること。今後、PTA加入任意という認知も広まって会員自体の確保も難しくなる中でどう確保していくか課題である。今回の大会のテーマである、「いいねからはじめよう：コロナ禍で緩んでしまった紐を結びなおすためにまずやれること〜」。まさにどの学校も、もう一度しっかり立ち上がるために試行錯誤しながら、活動しているという内容が伝わってきた。

講評で、「子どもが喜べば、親も喜ぶ。すべては子どものため」という言葉が印象に残った。この言葉に尽きる。PTA活動の原点で、どんな時代になってもどんなに形式が変わってもこの思いは変わらないと思う。



おしらせ

10月にPTAソフトバレー京築地区大会が行われます。7月4日(木)から練習をしていますので、参加をお待ちしています。

場 所：本校体育館

時 間：19時30分~21時

実施日：毎週木曜日

